

■令和元年度 第9回大阪府福祉のまちづくり審議会における委員の意見概要

番号	分類	ご意見
ホテル又は旅館におけるバリアフリー化について		
1	客室数の推計	バリアフリー客室数が推計どおりに整備されるのか追跡・調査し、今後、どのようにすべきか考えてほしい。
2	公表制度	バリアフリー情報の公表は、既存ホテルでは努力義務であり、車椅子利用者にとって、実質的に有効なものとなっているか検証してほしい。
3		バリアフリー情報の公表については、インターネットを使えない視覚障がい者や外国人等もいるため、インターネットだけでなく、電話窓口の設置等より細かなニーズに対応してほしい。
4	ガイドライン	駅に連絡している民間建築物のエレベーターの位置を示すピクトサインの設置が進むように大きさや設置高さ、色合い等がわかるように具体的な事例を追加してほしい。
5		エスカレーターの望ましい整備に、進行方向を示す音声案内の記載があるが、大阪メトロではどこの改札までか等の行き先まで音声案内しているので、追記してほしい。
6		ガイドラインは望ましい整備を増やすことで充実するが、それを義務規定にしていくことを考えてほしい。
7		備品の貸出で、浴槽滑り止めマットと記載があるが、脊損者は滑り止め用ではなく怪我の防止等のために浴槽マットを使用するため変更をお願いしたい。
8	ピクトサイン	ピクトサインは利用時に見るため、啓発の役割になると思うが、内容がわかりやすいように提示する順番も含めて検討してほしい。
鉄道駅の更なるリアフリー化について		
1	バリアフリー化の背景	鉄道駅等のバリアフリー化を取り巻く背景に高齢者の外出の増加とあるが、障がい者も雇用の増加により外出も増えていると考えられるので、追記してほしい。
2	エレベーター設置困難駅での対応	エレベーターの設置が構造上困難な駅では、車椅子利用者等に対しどのように対応しているのか。
3	ホーム柵の整備	可動式ホーム柵の補助対象駅は、現状では5千人以上の駅であり、国の基本方針では3千人以上の駅をバリアフリー化、部会では3千人未満の駅についても整備を進めてほしいという意見も出ているので、5千人以上を3千人若しくは「なし」としていただきたい。
4	無人駅	乗降客数が少ない駅は、ハード整備が遅れ、かつ、無人駅の可能性が高いことから緊急時の安全性等ソフト面の対応でも問題があり、ハード、ソフトの両面から対応が必要。
5	声かけサポートカード	声かけサポートカードは正直見たことがなく、カードを配布するより、掲示した方が目につくのではないか。